



ヒマワリの種をまく参加者 (写真は九十九里ホーム提供)

遊休農地でヒマワリの迷路作り 福島の種で環境保全

栄地区栢田で6月21日、地域の耕作されていない畑を活用してヒマワリの種まきが行われました。同所では毎年、西栢田環境保全会が主体となって、約900㎡の遊休農地に迷路をデザインしてヒマワリの種をまいています。

この取り組みは、福島県内から送られてきたヒマワリの種を各地で育て、採れた種を福島へ送り返して活用する「福島ひまわり里親プロジェクト」の一環として行われたもの。今年、同会やガールスカウト第98団のメンバー、社会福祉法人九十九里ホームの職員ら約60人が参加し、約1時間かけて種まきを行いました。迷路は、県道飯岡片貝線沿いに完成予定で、同会によるとヒマワリは8月中旬ごろに満開になる見込みです。完成した迷路には自由に入ることができます。

飲酒運転根絶を事業所として宣言 八日市場郵便局が市内初の取り組み

飲酒運転による交通事故を根絶するため、八日市場郵便局で7月10日に「飲酒運転根絶宣言式」が行われました。同郵便局が実施したこの宣言は、企業や団体などが飲酒運転ゼロに向けた取り組みを自ら宣言してもらい気運の醸成を図るもので、市内初の取り組みです。

参加した郵便局員たちは、匠瑛署の難波透署長の前で「飲酒運転は絶対しない」「行く恐れのある人に車両や酒類を提供しない」「飲酒運転の車両に同乗しない」などと宣言。その後、同署員とともにカインズスーパーセンター八日市場店で啓発チラシを配布し、飲酒運転の根絶を呼び掛けました。



難波署長(左)へ代表して飲酒運転根絶を宣言する郵便局員

善行者を表彰



ティーケーシー株式会社T K C (栃木県宇都宮市)から、市の新型コロナウイルス感染症の対策のため200万円の寄贈がありました。これに対して同社を善行者として表彰し、7月3日に、太田市長から同社取締役の湯澤正夫常務執行役員へ表彰状が贈られました(=写真)。



市と株式会社サイネックスで官民協働事業として作成に取り組んできた「匠瑛市暮らしの便利帳2020」(=写真)が広告主の皆さんから多大なご協力をいただき、このたび完成しました。

■ポスティングでお届け

暮らしの便利帳は、7月中旬から作業従事者証を身につけた配達員がポスティングにより全戸配布を行っています。配達期間は8月中旬までです。

9月以降、まだ届いていないというご家庭には、配達または郵送しますので秘書課広報聴班(☎73-0080)までご連絡ください。

■ぜひ、ご活用ください

内容は、市民生活に必要な行政情報に加えて、地震などの災害に対する防災情報、歴史・文化、地元産品、市内の見どころなどの地域情報について写真付きで紹介しています(全112ページ)。自宅で大切に保管し、ぜひご活用ください。

「匠瑛市暮らしの便利帳」を発行
7月中旬から各家庭にお届けしています

みんなのひろば

ピープル PEOPLE Vol.23
 匠の達人



かのう きみこ
 狩野君子さん(81歳) 今泉

パンフラワー(パン粘土を使った造花)や和紙人形、ちぎり絵などを20年以上にわたって制作している狩野さん。部屋いっぱい飾られた手作りの作品が、来訪者の目を引きまします。狩野さんは37歳の時に夫の仕事の関係で神奈川県横浜市から移住。仕事を定年退職した後、6歳になってからの「挑戦」として、市開催の生涯学習講座の教室に参加し、81歳になった現在でも作品を作り続けています。「横浜から来たから、仲間づく

仲間とのつながりが財産

今後も仲間とともに作品を作り続けていきたいと話す狩野さん。「今では、趣味を通してできた仲間とのつながりが財産。横浜にそのまま住んでいたら、こんな財産は得られなかったかもしれないわ」と明るく笑います。

りがしたかったの。だから教室の参加者に声を掛けて、教室以外でも自主的に活動したわ。みんなを自宅に呼んで作品を作ったりね。そうしたら、20年間ずっと続けることができたわ」と、今までの活動を振り返ります。

みんなみて！
 みて！！

アートギャラリー



水族館をイメージしたペットボトルのけん玉だよ。水色のタコは魚と遊んでいるんだ。ビーズを使った気泡もおしゃれでしょ。

東保育園

伊藤莉未ちゃん



椿海保育園

鈴木杏奈ちゃん



折り紙で風鈴を作ったよ。風鈴の形に紙を折るのが難しかったけど、大好きなハートをきれいに貼り付けられたよ。



卵から生まれた魚たちがみんなと相談しているよ。これからもっと深い海に行くんだ。ジンベエザメの模様がかわいいでしょ。



椿海小学校 2年
 高橋恵愛さん